

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	水野 伸子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

研究テーマの設定方法や研究手法を先行文献より理解する。資料収集の方法を実践的に学ぶ。音を介した保育や教育の実践例を発達の観点から問い合わせし、活動の意義を理解する。これら一連の活動を通して、将来、社会人として求められる論理的な思考力や文章力、仲間と協働する対人関係能力を養う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	各自が研究を進めるなかで、課題に対しディスカッションやグループワークを行い、必要に応じてフィールドワークを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション（本授業の意義の理解と個々の課題の設定）	本授業の意義を理解し、個々の課題を設定する	<input type="checkbox"/>
第2回	研究の意義	大学生が研究する意義を、多面的に考える	<input type="checkbox"/>
第3回	研究テーマ（1）設定方法の理解	各自の疑問や社会の現状から、研究テーマがどのように設定されているのかを文献から理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	研究テーマ（2）先行研究の検討	先行研究では、研究テーマがどのように設定されているのかを知る	<input type="checkbox"/>
第5回	資料収集（1）本を読む技術	研究するための基礎となる本を読む技術について文献から学ぶ	<input type="checkbox"/>
第6回	情報検索ガイドによる資料収集団文献検索の方法	資料収集するにあたり文献検索の方法を再確認する	<input type="checkbox"/>
第7回	先行文献（1）音を介した保育の文献要約	先行文献（1）音を介した保育の文献を要約し研究方法を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第8回	先行文献（2）音を介した教育の文献要約	先行文献（2）音を介した教育の文献を要約し研究方法を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第9回	先行文献（3）文献資料の検索結果の交流	先行文献（3）個々に取り組んだ文献資料の検索結果を交流する	<input type="checkbox"/>
第10回	フィールドワーク（1）調査方法・観察法・フィールドノーツの書き方の理解	フィールドワーク（1）調査方法・観察法・フィールドノーツの書き方を理解する	<input type="checkbox"/>
第11回	フィールドワーク（2）現地調査	フィールドワーク（2）現地調査を行う	<input type="checkbox"/>
第12回	フィールドワーク（3）結果の交流	フィールドワーク（3）結果を交流する	<input type="checkbox"/>
第13回	結果の書き方	研究結果の記述の仕方を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	結果の検討	研究結果を検討し考察する方法を理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	研究成果の交流	研究成果を交流し、課題を整理する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、研究目的に沿った先行文献を読み、項目ごとに要約する（2時間程度）。事後学習として、授業で明らかになった課題を解決するために先行文献を読んだり、文章を推敲したりする（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題は、考えるヒントを提示したり、添削したりして返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018子ども発達DP1	研究目的に沿った方法を考え、記述することができる。
	◇ 2018子ども発達DP2	先行文献から他者の主張を理解し、自分の考えを修正したり深めたりして記述することができる
	◇ 2018子ども発達DP3	社会の現状や保育・教育の実態から問題点を見いだし、その原因を先行文献や調査結果をもとに分析することができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%

授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)

研究レポート

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		